

平成28年度 指定管理者年度評価シート

1 公の施設の基本情報

施設名称	千葉市子ども交流館
条例上の設置目的	子どもの健全な育成と交流を図る
ビジョン (施設の目的・目指すべき方向性)	
ミッション (施設の社会的使命や役割)	
制度導入により見込まれる効果	
成果指標※	① _____ ② _____
数値目標※	① _____ ② _____
所管課	こども未来局こども未来部こども企画課

※ 成果指標及び数値目標は、選定時に設定したものである。

2 指定管理者の基本情報

指定管理者名	アクティオ株式会社
構成団体 (共同事業体の場合)	
主たる事業所の所在地 (代表団体)	東京都目黒区下目黒1丁目1番1号目黒東洋ビル4階
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日（5年）
選定方法	公募
非公募理由	
管理運営費の財源	指定管理料

3 管理運営の成果・実績

(1) 成果指標に係る数値目標の達成状況

成果指標	数値目標※	H28年度実績	達成率※

※ 数値目標は選定時に設定した数値であり、市設定の数値を上回る目標を指定管理者が設定している場合、市設定の数値は括弧書きで表している。

(2) その他利用状況を示す指標

指標	H28年度実績
来館者数	154,820人
新規登録者数	13,953人

4 収支状況

(1) 必須業務収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費 目		H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
指定管理料	実績	94,888	94,561	実績一計画	0
	計画	94,888	94,561	計画一提案	△ 469
	提案	95,357	94,931		
利用料金収入	実績			実績一計画	0
	計画			計画一提案	0
	提案				
その他収入	実績	418	406	実績一計画	18
	計画	400	378	計画一提案	△ 320
	提案	720	720		
合計	実績	95,306	94,967	実績一計画	18
	計画	95,288	94,939	計画一提案	△ 789
	提案	96,077	95,651		

イ 支出

(単位：千円)

費 目		H28年度	【参考】 H27年度	計画実績差異・要因分析	
				差異	主な要因
人件費	実績	56,704	55,470	実績一計画	3,219
	計画	53,485	53,088	計画一提案	△ 1,528
	提案	55,013	54,605		
事務費	実績	30,671	31,670	実績一計画	△ 1,442
	計画	32,113	30,967	計画一提案	1,519
	提案	30,594	30,472		
管理費	実績	160	131	実績一計画	52
	計画	108	216	計画一提案	△ 108
	提案	216	216		
委託費	実績	1,312	1,087	実績一計画	154
	計画	1,158	2,244	計画一提案	△ 456
	提案	1,614	1,718		
その他事業費	実績	0	0	実績一計画	0
	計画	0	0	計画一提案	0
	提案	0	0		
本社費・共通費	実績	6,453	7,506	実績一計画	△ 1,971
	計画	8,424	8,424	計画一提案	△ 216
	提案	8,640	8,640		
合計	実績	95,300	95,864	実績一計画	12
	計画	95,288	94,939	計画一提案	△ 789
	提案	96,077	95,651		

※「計画」とは、事業年度ごとの事業計画書で定めた計画額を示す。

「提案」とは、選定時の提案書、事業計画書で指定管理者が提案した見積額を示す。

※2 なお、消費税率の改定により、選定時の見積額を消費税率5%から8%に換算した金額を記載している。

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

平成28年における本社経費の算出は、当社決算書（平成27年1月～12月）の中の営業経費である販売費及び一般管理費が11%となっており、その比率を参考としております。
子ども交流館に関しては、収支計画書に示す各項目から本社経費を除いた総支出に対して約10%を本社経費として予算計上しましたが、収支報告書の決算では、本社経費を7.2%まで引き下げ、本社経費分をなるべく運営費に充てることで、運営を安定させることに注力した結果です。

(2) 自主事業収支状況

ア 収入

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】H27年度
自主事業収入	実績	1,968	1,492
その他収入	実績		
合計	実績	1,968	1,492

イ 支出

(単位：千円)

費目		H28年度	【参考】H27年度
人件費	実績		
事務費	実績		
管理費	実績		
委託費	実績		
使用料	実績		
事業費	実績	2,176	1,552
利用料金	実績		
その他事業費	実績		
本社費・共通費	実績		
合計	実績	2,176	1,552

本社費・共通費の配賦基準・算定根拠

(3) 収支状況

(単位：千円)

		H28年度	【参考】H27年度
必須業務	収入合計	95,306	94,967
	支出合計	95,300	95,864
	収支	6	△ 897
自主事業	収入合計	1,968	1,492
	支出合計	2,176	1,552
	収支	△ 208	△ 60
総収入		97,274	96,459
総支出		97,476	97,416
収支		△ 202	△ 957
利益の還元額		0	0
利益還元の内容			

5 管理運営状況の評価

(1) 管理運営による成果・実績（成果指標の目標達成状況）

評価項目	市の評価	特記事項

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A : 成果指標が市設定の数値目標の 120%以上 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はBとする。)
- B : 成果指標が市設定の数値目標の 105%以上 120%未満 (ただし、指定管理者設定の目標に達していない場合はCとする。)
- C : 成果指標が市設定の数値目標の 85%以上 105%未満
- D : 成果指標が市設定の数値目標の 60%以 85%未満
- E : 成果指標が市設定の数値目標の 60%未満

(2) 市の施設管理経費縮減への寄与

評価項目	市の評価	特記事項
市の指定管理料支出の削減	C	

【評価の内容】※数値はいずれも原則であり、特殊な事情がある場合は当該事情も含め、総合的に判断する。

- A : 選定時の提案額から 10%以上の削減
- B : 選定時の提案額から 5%以上 10%未満の削減
- C : 選定時の提案額と同額又は 5%未満の削減
- (D・E : 選定時の提案額を超える支出を行うことはないため、該当なし)
- : 対象外 (市の指定管理料支出がない。)

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
1 市民の平等利用の確保・施設の適正管理	B	C	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者個人情報保護規程に基づき適正に管理されている ・協定書、事業計画書等を事務室に備え、求めに応じて閲覧させる体制を整備している。 ・消火、避難訓練等を実施し、緊急事態に備えている。また、千葉市の避難所としての連絡体制や、避難所運営委員会の立ち上げに向けて、協力的・積極的に参加している。
市民の平等利用の確保			
関係法令等の遵守			
リスク管理・緊急時対応			
2 施設管理能力			
(1) 人的組織体制の充実	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・原則、職員を各階に 1人以上、事務室に 2人以上配置している。 ・常勤職員 12人全員が児童指導員または、教員免許所有者である。 ・新人研修の他、休館日を利用して、月 1回全職員を対象に研修を行っている。
管理運営の執行体制			
必要な専門職員の配置			
従業員の能力向上			
(2) 施設の維持管理業務	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・管理運営の基準のとおり、適正に実施している。
施設の保守管理			
設備・備品の管理・清掃・警備等			
3 施設の効用の発揮			
(1) 幅広い施設利用の確保	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども運営委員によるツイッターを新たに開始し、同世代へ向けての発信を支援した。
利用促進の方策			

評価項目	自己評価	市の評価	特記事項
(2) 利用者サービスの充実 利用者への支援 利用者意見聴取・自己モニタリング	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生ボランティアサークルを立ち上げ、特に中高生の子どもたちが気軽に訪れやすく、また、学習や進路の相談ができるような環境整備を実施した。 ・ご意見回収箱を常設し、ロビーに回答とともに掲示を実施している。 ・子ども運営委員会を定期的に開催し、利用者自ら利用ルールや事業に関する意見等を収集し、反映できる環境を整えている。
(3) 施設における事業の実施 施設の事業の効果的な実施 ・子どもの健全な遊びと居場所の提供 ・子どもの健全な育成を目的とした講座等の開催 ・子どもの自主サークルその他自主活動の支援 ・子どもの遊びと居場所づくりに関する情報の提供 ・子どもの参画推進 ・支援をする子どもへの対応 ・その他市の子ども施策への対応 自主事業の効果的な実施	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の要望を取り入れサービス向上のため「わくわくりトミック」を、計画年24回のところ、38回実施した。 ・「キッズ・アトリエ」を計画上3回のところ、年4回実施した。 ・事業の効果的な実施により、来館者数は過去最高となった。
4 その他 市内業者の育成 市内雇用への配慮 障害者雇用の確保 施設職員の雇用の安定化への配慮	C	C	<ul style="list-style-type: none"> ・職員（非常勤含む）23人のうち、21人が千葉市在住である。 ・同社の法定雇用率（平成28年6月1日付け）は、2.32%であり、子ども交流館においては、1名が平成24年度より継続的に従事している。 ・指定管理者としての認識、施設の管理運営の理解他、面談等の条件はあるが、基本的には継続雇用が原則となっている。

【評価の内容】

- A : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
 B : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を上回るなど、優れた管理運営が行われていた。
 C : 概ね管理運営の基準・事業計画書等に定める水準どおりに管理運営が行われていた。
 D : 一部、管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、改善の余地がある管理運営が行われていた。
 E : 管理運営の基準・事業計画書等に定める水準を満たしておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(4) こども未来局指定管理者選定評価委員会意見を踏ました対応

意見の内容	意見対象年度	対応・改善の内容
幼稚園等の児童交流促進事業については、年4回の計画で年1回の実績と、計画を下回る実績であることから、幼稚園等の年間スケジュール策定時期に合わせ、早い段階からの周知、PRを幅広く行うなど、改善を図られたい。	平成26年度	H27年度の幼稚園等の児童交流促進事業においては、早い段階から、周知・PRを実施し、計画通り年4回の事業を実施した。

6 利用者ニーズ・満足度等の把握

(1) 指定管理者が行ったアンケート調査

実施内容	調査方法	1. 調査方法 (1) 利用者アンケート（回収BOXにより常時受理） (2) 特別アンケート（遊びの王国・子育てふれ愛フェスタ開催時）
	回答者数	2. 回答者数（延べ人数） (1) 101件 (2) 342件（遊びの王国：118件、子育てふれ愛フェスタ：224件）
	質問項目	3. 質問項目 事業、スタッフ、施設等の満足度他
結果	<p>(1) 利用者アンケート</p> <ul style="list-style-type: none"> ●バスケットボールなど予約が必要だが、予約なしでもよいのではないか。 ⇒利用希望者も多く限られたスペースの中で自由にしてしまうと、ケガや事故につながる。 安全が大切なので、今後も現行通りとしたい。 ●とても楽しかった。DVDをもう少し増やして欲しい。 ⇒限られた予算の中で、計画的にそろえていく。 ●来館者向け用のフリーWifiを利用したい。 ⇒避難所に指定されていることもあり、実現に向けて検討協議を進めている。 (平成29年度から導入済み) <p>(2) 特別アンケート</p> <p>「遊びの王国」（アンケート回収枚数118枚）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住まいについて（回答数112） 市内は92件、市外は20件の回答 ●開催を知った経緯（回答数113） 子ども交流館55、ホームページ23、チラシ14、市政だより10他 ●意見 <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児でも楽しめて良かった。 ・また参加したい。 ・楽しかったが、内容が少し難しかったかも。 <p>「子育てふれ愛フェスタ」（アンケート回収枚数224枚）</p> <ul style="list-style-type: none"> ●住まいについて（回答数112） 市内は199件、市外は24件の回答 ●開催を知った経緯 子ども交流館50、チラシ25、保育園23、ホームページ21、小学校21、市政だより15他 ●意見 <ul style="list-style-type: none"> ・親子で参加が出来て良かった。 ・子どもが喜んでいた。 ・先生が褒めてくれて良かった。 ・もっと小学生のものを企画してほしい。 	

(2) 市・指定管理者に寄せられた主な意見・苦情と対応

主な意見・苦情	指定管理者の対応
学習室でお菓子を食べたり、うるさい子もいるので、注意してほしい。掲示も少し変えた方がよい。	引き続き職員の巡回を増やした。
冷水器を利用するのに、小さい子が使える台があつた方がよいのでは。	幼児が活用できるよう、早急に踏み台を設置した。
電子マネーが使用できる自販機を置いて欲しい。	自動販売機を設置している業者に依頼し、対応については、回答待ちとなっている。

7 総括

(1) 指定管理者による自己評価

総括評価	B	所見	<ul style="list-style-type: none">・28年度も広報活動の充実に引き続き務め、新たに市内全図書館・分室にも情報誌を配布するよう拡大した。・新規登録者は減少したが、過去最高の入館者数であった27年度をさらに約3,800人上回ることができた。・県市の特別支援学校や特別支援学級、児童相談所や児童発達支援センター・放課後デイサービスなど障害を抱えた子ども・団体の利用が増加していることは望ましい。・不登校や家出等で交流館を利用する事例が数例あったが、学校や家庭との連絡の取り合いや本人との対応など適切に行うことができた。・大学生ボランティア「ジュピター」を発足させ、早速充実した活動を展開しており、子ども運営委員会との連携など今後のさらなる発展が期待される。
------	---	----	--

(2) 市による評価

総括評価	B	所見	<ul style="list-style-type: none">・施設の広報活動、講座等が良好に運営されている。新規登録者数は、目標に届かなかったが、来館者数については、事業の効果的な実施により目標を達成し、過去最高の人数となった。・収支において、自主事業が依然としてマイナスであるが、管理業務はプラスにすることができた。・本市のこども施策（こどものまちC B T事務局事務、ワークショップ、児童福祉週間、こども若者サミット等）への協力体制があり、事業実施に貢献している。
------	---	----	--

【評価の内容】

- A : 市が指定管理者に求める水準等を大きく上回る、特に優れた管理運営が行われていた。
- B : 市が指定管理者に求める水準等を上回る、優れた管理運営が行われていた。
- C : 概ね市が指定管理者に求める水準等に則した、良好な管理運営が行われていた。
- D : 管理運営の一部において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、改善の余地のある管理運営が行われていた。
- E : 管理運営全般において市が指定管理者に求める水準等に達しておらず、速やかな改善が求められる管理運営が行われていた。

(3) こども未来局指定管理者選定評価委員会の意見

- ①市による評価のとおり、優れた管理運営が行われていると認められる。
- ②来館者数が計画目標を達成し、過去最高となったことを評価する。
- ③登録者数の増加に、一層努められたい。
- ④利用者層の拡大に努められたい。
- ⑤利用者の低年齢化に伴う安全確保・危機管理について十分配慮されたい。
- ⑥指定管理者の財務状況について、現状において特段の問題ないと認められるものの、収支状況の更なる透明性の確保に努められたい。